

人をつなぐ 未来へつなぐ 市川の教育

教育いちかわ



市川市教育振興基本計画

～次のような目標を掲げています～

- 子どもの姿** 自分や他人を大切に、社会の中でたくましく生きていくことのできる子どもを育てる
- 家庭・学校・地域の姿** 自らの役割と責任を担いながら、たがいに連携して教育の向上に取り組む家庭・学校・地域を実現する
- 市川の教育の姿** 教育環境の整備を図り、質の高い市川の教育を推進する

■発行
市川市教育委員会
〒272-0023
市川市南八幡1-17-15
TEL 334-1111

■企画編集
市川市教育センター
〒272-0015
市川市鬼高1-1-4
TEL 320-3335

平成28年度 教育行政運営方針

市川市では、市長による施政方針に合わせて、教育委員会による教育行政の運営方針を表明しています。2月17日に開会した2月市議会定例会において、田中庸恵教育長が新年度の教育行政運営方針を表明しましたので、その概要をお伝えします。

◆方向性の共有

～基本方針と重要施策～

教育委員会は、昨年10月に市長が策定した「**市川市教育振興大綱**」に掲げる、教育の目標の実現に向け、「市長と教育政策の方向性を共有し、教育行政の運営に努める」としました。また「新年度における教育行政の運営に向けた基本方針」と「基本方針に基づき取り組む新年度の重要な施策」を明らかにしました。

神をもって挑戦することが求められています。そして「これまで培ってきた実績を土台に、不易と流行の視点を大切にしながら、本市の実態に即した教育の振興に努める」と述べています。

なお、**28年度教育行政運営方針**につきましては、教育委員会のホームページに掲載していますのでぜひご覧ください。

【教育政策課】

◆実態に即した教育の振興

さらに、教育改革への対応については、自らの地域の教育の充実・発展につなげる、進取の精

小中一貫教育



塩浜学園運動会

市川版中高一貫教育



道徳交流授業→関連記事 2面

歴史や文化に関する教育



歴史地図づくり(行徳・真間)

道徳教育



学校支援実践講座

→ 関連記事 3面

インターネットから子どもを守るために

春の卒業・進級・入学を迎えるこの時期に、スマートフォン等の購入を予定しているご家庭も多いことと思います。しかしながら、近年、子どもたちが簡単にインターネットを利用できるようになったことで、友達同士のトラブルや事件・事故に巻き込まれるケースが非常に増えています。そこで、今回はトラブルを未然に防ぐ3つのポイントについてお知らせします。

①最初が肝心！適切な管理と見守りを！

目的や子どもの成長に合わせて、機器・機種を選んでください。保護者が管理し、子どもに貸し与えているという意識を持たせることが大切です。

②フィルタリングを活用して有害情報から子どもを守る！

警察庁の調べでは、ネット被害にあった子のほとんどが、**フィルタリング**を活用していませんでした。端末に合ったフィルタリングの利用が重要です。そして、せがまれても安易にフィルタリングを解除しないようにしてください。

【コミュニティサイトに起因する事犯の被害児童のフィルタリングの利用状況】



(平成27年 警察庁資料)

③子どもと一緒に家庭でルールをつくる！

ルールを決めるだけでなく、守られているかの確認までお願いします。そして、成長に合わせてルールを変えることも必要です。日頃からのコミュニケーションを大切に、家庭で十分話し合ってみてください。(以下作成例。チェックにご活用ください。)

- 利用時間は〇時～〇時、1日〇分間以上は使わない。
- 名前・写真・住所・学校名など個人情報は書き込まない。
- サイトに登録したり、アプリをダウンロードしたりする場合は事前に親の許可を得る。
- 家ではリビングで使用する。
- 悪口や人を不快にさせる言葉は絶対に書き込まない。
- 困った時はすぐ親に相談する。
- ルールを破ったら一時使用を禁止する。



学校では、有害情報の危険性や対応策を学んでいます。講演「携帯電話、インターネット問題の怖さ」(福栄中)

【教育センター】

市川の教育に貢献

教育功労者表彰は、教育・学術または文化の振興などに関し、特に功績が顕著であった個人または団体を表彰するもので、学校体育功労者は、学校体育に貢献している指導者を表彰するものです。

◆市川市教育功労者

氏名	役職名等
佐々賢二	市川博物館友の会 相談役
若林五郎	市川博物館友の会 名誉会長
藤間博之	市川市立中山小学校 校長
押田敏郎	市川市立若宮小学校 校長
杉山由美子	市川市立市川小学校 校長
平山健次	市川市立真間小学校 校長
片野良治	市川市立妙典小学校 校長
鈴木敏之	市川市立大野小学校 校長
吉澤紀子	市川市立鶴沼小学校 教頭
難波寿義(故人)	前市川市立柏井小学校 学校医
浜崎淳二	市川市立塩焼幼稚園 学校医
滝沢昌樹	元市川市立新井小学校 学校歯科医
寺澤千恵子	市川市立八幡小学校他 学校薬剤師

◆千葉県教育功労者
市川市立第三中学校 校長
市川市立第四中学校 校長
市川市立信篤小学校 校長
市川市立川小学校 校長

◆市川市立川小学校 校長
市川市立信篤小学校 校長
市川市立川小学校 校長
市川市立信篤小学校 校長

川口知子校長

古山弘志校長

齋藤匠前会長

清澤康嗣 学校歯科医
千島良二 教頭



市川市教育功労者表彰式(11月13日)

【教育総務課・教育センター】



市川版中高一貫教育の推進

本市では「教育の接続化」の新たな取組として、「市川版中高一貫教育」を推進しています。

これは、中学校と同じ学区内にある県立高校が、連携にあたってテーマを設定し、「授業や部活動での生徒間の交流」や「教員の相互授業参観」、「合同研修会」などに取り組んでいるものです。

現在、中学校3校、高校3校がペアとなり、3ブロックで取り組んでいます。

■第一中・国府台高ブロック

テーマ「学力向上」

主な取組

○生徒の交流として、高校生によ

る中学生の夏の補習の支援
○中学校の文化祭において高校のダンス部や吹奏楽部の共演

○教員の交流では、大学教授を招いて合同講演会の実施

○学力向上交流会を通して、中学校教員による高校生への「道徳」の授業

○中高教員による「学力向上」をテーマとするパネルディスカッション



学力向上交流会

■第八中・市川工業高ブロック

テーマ「キャリア教育」

主な取組

○生徒の授業体験として、中学生が工業実習6コースを体験



中高連携特別授業

○教員の交流として、中学校教員が高校の授業を体験、施設の見学を実施

○教員の異校種研修として、学区の小学校、幼稚園を含む連携

■高谷中・市川南高ブロック

テーマ「人間力」

主な取組

○生徒の交流と授業体験として、

中学校の「いじめ」をテーマとする一斉「道徳」の授業に高校生が参加(写真は1面)

○高校主催のキャリア教育講演会に中学生が参加

○中高連携に関するリーフレットの発行による情報発信



介護体験

こうした中高連携の推進により、中高生のお互いの「学びや育ち」が深められ、教職員にとっても相互理解による、わかる授業づくりの推進が図られつつあります。

次年度は、今年度の取組をもとに、「授業」をキーワードとした取組により「教育の接続化」を推進してまいります。

【指導課】

教育委員交流会

教育委員会では、子どもたちや保護者、教職員の意向を把握し、基本計画の策定及び改定に反映させるため、**教育委員**と子どもたちや保護者、教職員との交流会を行っています。今年度は14校で実施しました。



福栄中

盛んに活動している部活動の部長たちと、小林委員・内田委員が歓談し、給食交流も行いました。(10/22)



徳法学園

小林委員・平田(信)委員が生徒会役員8名(8年生3名、7年生3名、6年生2名)と歓談しました。(12/10)



菅野小

「菅野小がもっとよくなるために」のパネルディスカッションを五十嵐委員・平田(史)委員が参観しました。(11/26)



平田小

6年生「興味のある職業調べ」の発表・交流会に五十嵐委員・内田委員が参加し、給食交流も行いました。(12/17)



八幡小

代表委員会による学校のアンケートに基づいた話し合いに田中教育長・小林委員が参加しました。(1/14)



鶴指小

2年生の英語にふれる学習を、平田(信)委員が参観しました。児童はたいへん意欲的でした。(1/21)



稲貴島小

クラブ活動を田中教育長・平田(信)委員が参観し、茶道クラブで体験も行いました。(1/28)

【教育センター】

174 国の制度改革と市川教育③

～教育基本法改正と「校内塾・まなびくらぶ」～

○教育基本法の改正

平成18年改正の教育基本法では「学校においては…(中略)…自ら進んで学習に取り組む意欲を高めることを重視」(第6条2項)することが新たに規定されました。

この改正の背景には、日本の子どもたちの学習状況があります。各種調査の結果では、日本の子どもたちは、近年世界トップレベルの学力を有する一方、諸外国に比べて学習意欲や自己肯定感等が低いことが、全国的な課題であると示されています。

【表1】 高校生の生活と意識に関する調査報告書

質問項目	日本	米国	中国	韓国
自分には人並みの能力がある	55.7%	88.5%	90.6%	67.8%
自分はダメな人間だと思ふことがある	72.5%	45.1%	56.4%	35.2%

(国立青少年教育振興機構2015)

○校内塾・まなびくらぶ

市内の全公立小・中学校で実施中の「校内塾・まなびくらぶ」は、こうした全国課題の改善に大きな成果をあげています。

【表2】 「校内塾・まなびくらぶ」児童生徒アンケート

質問項目	肯定的回答
学習することが楽しい	78.4%
学習したことがわかった、できるようになった	82.5%
あきらめないでがんばっている	82.5%
先生や家の人、友だちから認められている	61.4%

(市川市教育委員会 2015)



校内塾・まなびくらぶ

日頃の成果を発表!～公民館文化祭～

市内に16館ある**公民館**は、地域の皆様の学習の場として、定期的に主催講座を開催しています。

また、自主的な学習活動及び交流の場としてサークル活動やレクリエーションなどにも利用していただくことができます。

そして、活動する団体が日頃の成果を地域の皆様に披露することを目的に毎年**文化祭**を開催しています。

今年度、行徳公民館では、11月14日(土)・15日(日)に

開催され、作品の展示・演技の発表・イベントなどが行われました。

地域の皆様が多く参加され、小林教育委員も視察に訪れました。【社会教育課】



生け花の説明を聞く小林教育委員

この成果を生み出す要因は、
①自学自習やプリント学習など、子どもたち自らが学習課題を主体的に選んで学ぶ形をとっていること、

②「学びサポーター」による、きめ細かな支援を受けた学習が行われていること、

にあると教育委員会では分析しています。

引き続き、子どもたちの個性やニーズに寄り添い「学ぶ喜び、わかる喜び、できる喜び」を引き出すことを大切にして取り組んでまいります。

【教育次長】

心の交流 地域の方と「いじめ未然防止」

1 学校支援実践講座とは

これは、地域全体で「いじめ」の未然防止を図るため、千葉大学教育学部(藤川大祐教授)の全面協力を得ながら進めている本市独自の取組です。

具体的には、「いじめの問題に関心があり、子どもたちや学校の力になりたい!」という市民の方を対象に、**人権講座【学校支援実践講座】**を行い、受講生は「地域支援者」として小・中学校での交流会に参加します。

2 「交流会」とは

交流会は、児童・生徒が地域の方々との「出会い・ふれあい・語り合い」を通して、「いじめ」の問題を考える機会です。今年度は2

学期に11校43学級の小・中学校で「交流会」が行われました。

初対面の地域支援者の方々に対して、最初は緊張気味だった児童・生徒も、地域支援者の方々の温かい人柄に触れ、すぐに打ち解けました。どの学級でも、



「交流会」での意見交換(稲荷木小・3年生)

児童・生徒は「いじめ」を身近な事として捉え、真剣かつ積極的に意見交換を行いました。

3 豊かな心を育む取組として…

【児童・生徒の交流会感想】※一部抜粋
■主人公の気持ちをたくさん言

えました。地域の方が僕の意見を発表してくれて、すごく嬉しかったです。道徳が楽しくなりました。《**中学年男子**》

■交流会を通して「いじめ」の根源や原因は意外と身近な所にあったと分かり、「いじめ」は悪いものだという印象が心に焼きついた。地域の方や班のメンバーと話していると、自然と本音で話すようになり、親しくなれた気がした。《**高学年男子**》

■「いじめ」など、自分も関わっているかもしれない問題を、自分一人で考える事は難しく、考え方も一方的になるので、地域の

方と話し合えて、貴重な経験になった。《**中学生男子**》

■自分と違う考えの人がいたり、人の意見に共感したり、人とのつながりを大切にするためにはどうするかを考えたりと、良い経験ができた。《**中学生女子**》

「交流会」では、地域支援者が児童・生徒一人一人の自由な考えや意見を引き出してくれます。

その結果、多様な考え方や価値観に触れる中で、児童・生徒に善悪の判断や他者への思いやり、相互理解と寛容の心等の「豊かな心」を育む貴重な機会となっています。→**募集** 【社会教育課】

心の教育 小さな命との関わり

「市川浦安獣医師会」の獣医師の方々による特別授業「学校飼育動物管理指導」が、今年度も市内10校の小・中学校で実施されました。

当初は、ウサギなどの学校飼育動物の飼育法を伝える目的で始まった取組ですが、近年は内容が充実、発展し、獣医師の仕事や、人と飼育動物の関わりについて学ぶ中で、豊かな心を育む「心の教育」として行われています。

この特別授業で子どもたちの心に強く残るのは、「動物にもそれぞれ心があって、目を見ればうれしいのか悲しいのかわかる」、「動物は自分の弱みをかくす習性

があるから、思いやりを持ってよく見てあげないと具合が悪くても気付いてあげられない」といった、獣医師の方々の経験を通した言葉の数々です。



特別授業の様子

授業後の子どもたちからは、「これからは命についてよく考えて、大切にしていきたい」といった感想がよせられています。

子どもたちの心に思いやりの灯をともし大切な取組として、今後も実施してまいります。

【指導課】

「いぶき」授賞決定!



教育実践論文「いぶき」は、教育実践をまとめることで教職員の自己啓発を促すことを目的に昭和54年度に始まり、今年度で37回目です。

平成27年度「いぶき」の表彰式・発表会が2月2日(火)に行われました。一般部門・最優秀賞は、二俣幼・西山智史教諭が、特別賞に若宮小・押田敏郎校長、幸小・明石多門校長が、経験5年以下フレッシュ部門・最優秀賞には真間小・坂田愛教諭、幸小・伊藤昌治・加藤滉一両教諭が選ばれました。(論文の概要は[こちら](#)) 【教育センター】

「一般部門」

※同じ賞については学校番号順で記載してあります。

賞	学校名	氏名	職	分野	テーマ
最優秀	二俣幼	西山 智史	教諭	幼稚園	一人一人が主体的に取り組むための援助のあり方を探る
優秀	チームEIYOUSHI 古賀裕喜子 他7名		栄養教諭	給食	自らの健康を考え、実践できる子どもの育成をめざして
優良	行徳小	掛水 裕斗	教諭	国語	進んで伝え合いができる児童の育成
優良	幸小	大森 まり	教諭	学級経営	人が育つということ
特別賞	若宮小	押田 敏郎	校長	学校経営	学校発 地域コミュニティで人づくり
特別賞	幸小	明石 多門	校長	学校経営	生徒指導の原点を見つめて

333070ジェト 夢の教室

本市南部地区の小学校において、「夢の教室」と呼ばれる授業が行われています。(① ② ③)

これは、東京地下鉄株式会社(東京メトロ)の支援と、日本サッカー協会の運営のもと、Jリーグ・なでしこリーグ、他競技の現役選手やOB・OGなどが「夢先生」として派遣されるものです。この事業は「夢や目標を持つことの大切さ」「仲間と協力するこ



大山加奈先生(女子バレーボール・アデネ五輪代表)

との素晴らしさ」等を前半のゲーム活動と、後半のトークの時間を通して子どもたちに伝えることを目的としています。

夢先生と一緒に体を動かしたり、様々な苦難を乗り越えてきた夢先生の「夢曲線」を使った話を聞いたりすることは、子どもたちにとって貴重な経験であり、「こころの教育」に大きな成果を挙げています。

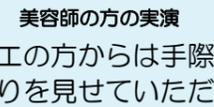
なお、北部地区の小学校と市内の中学校では、オリンピック・パラリンピック関連事業「夢の教室」としてスポーツ課が実施しています。(① ②) 【保健体育課】

地域と学校が一体となる魅力的な授業づくり ~学習支援クラブ~

妙典中学校では学習支援クラブ事業を活用し、保護者や地元の企業の方々から講師となる「キャリア教育セミナー」を行っています。

この授業では、生徒が様々な職業の実際の内容や様子を多数の講師から聞き、また職業の一部を体験してみることで働くことの意義について学んでいきます。

生徒は、あらかじめ選択していた37の職種ごとのコースに分かれ、パティシエの方からは手際の良いケーキ作りを見せていただいたり、製薬会



美容師の方の実演

社の研究員の方から薬を開発する仕事の大変さやその魅力を教えていただいたり、あるいは警察官の方から市民の生活を守る強い使命感についてお話を聞かせていただいたりして、職業への理解を深めました。

こうした体験は、生徒一人一人の心に、働く人に対する尊敬の念やあこがれといった気持ちをつくりだし、自分の将来や人生について深く考えたいへん貴重な機会となりました。学習支援クラブ事業は、こうした地域と一体となった魅力的な授業づくりを推進しています。

【指導課】

経験5年以下「フレッシュ部門」

※同じ賞については学校番号順で記載してあります。

賞	学校名	氏名	分野	テーマ
最優秀	真間小	坂田 愛	外国語	「Let's enjoy English! 日常からできる外国語活動」
最優秀	幸小	伊藤 昌治 加藤 滉一	保健体育	共に学び合い、高め合う体育学習
優秀	妙典中	齊藤 哲之	道徳	全教育活動を通じて、全職員・家庭・地域に係る道徳教育を目指して
優良	行徳小	加瀬 耕介	総合	私たち、水を大切に励
優良	行徳小	門倉 直己	学級経営	一人一人の良さを認め合える学級づくり
優良	富美浜小	井上 峻輔	算数	考えることの楽しさを実感できる授業づくりを目指して
優良	幸小	瀬戸麻友子	人権	どの子も安心して過ごせる学校をめざして
優良	幸小	田中 良祐	特別活動	主体的に活動できる係活動の充実

連載③～中学校編～

「よりよい家庭教育のために」

① 中学校生活のスタートに向けて

小学校と違い、中学校は教科担任制であり、他の小学校からの生徒と一緒に、部活等を通して上級生との交流があるなど、子どもにとって大きな環境の変化にともなうことでもあります。

親としては、子どもの新生活を楽しく過ごすための環境づくりと、授業でスムーズなスタートがきれるような今後の学習プラン(家庭学習の習慣化等)を考えてあげたいところです。

また、親として子どもに夢や希



望を語り続ける存在でありたいものです。「夢あるものに目標あり、目標あるものに計画あり、計画あるものに行動あり、行動あるものに成果あり」(千葉県教育委員会家庭教育支援プログラムより)

②「反抗期 胃袋だけは 逆らわず」

文部科学省「楽しい子育て全国キャンペーン」の三行詩優秀作品の1つです。中学生という時期は、子どもが大人へと成長

する過渡期で思春期といわれます。個人差はありますが、思春期の特徴は、

- 心とからだの成長がアンバランスになりやすい時期
 - 親離れが進む時期
 - 自意識を高め、自分探しをはじめめる時期
- です。特に、親への依存度が減り自分自身の考えや判断で行動

しようとするため、反抗的な態度にでることがあります。子どもは、自分のことで頭がいっぱいで、親の気持ちに気がつかう余裕がないからです。

そこで親は、子どもが自力でやろうとしているときはやらせておき、助けを求めてきた時だけ手伝うという気持ちで見守ることが大切です。【社会教育課】

子どもにかかわる相談は、ここでできます！

面接相談 (教育センター相談室)

予約TEL 320-3336 火～土(9時～17時)

◆教育相談

対象：3歳～中学3年生

様々な悩みに関して専門的知識を持つ教育相談員が面接相談をしています。



電話訪問相談

TEL 320-3362 火～金(12時30分～17時)

◆ほっとホット訪問相談

対象：小学1年生～中学3年生

不登校や子育てについての相談を電話でお受けしています。自宅等に向向いてお話を伺うこともできます。

少年相談

TEL 320-3340 月～金(9時～17時※木は19時)

◆少年センター

対象：小学1年生～20歳未満

家庭生活、交友や健康など様々な悩みの相談(メール相談あり、以下)を受け付けています。

◆メール相談 youngnet@city.ichikawa.chiba.jp

特別支援学級・通級指導教室 開設

～北部・中西部にそれぞれ1校ずつ～

教育委員会では、特別支援教育に係る環境の充実を図るため、平成28年4月より下記の2校に、新たに特別支援学級及び通級指導教室を開設することになりました。(→現在の設置校)

【特別支援学級(知的)】

市川市立第三中学校

所在地：市川市曾谷3-2-1

【通級指導教室(自閉・情緒)】

市川市立鶴指小学校

所在地：市川市大和田4-11-1

なお、開設に関するお問い合わせにつきましては義務教育課に、入級に関するご相談は教育センターまでお申込み下さい。

●義務教育課 TEL383-9261

●教育センター TEL320-3336(火～土曜日9時～17時) (相談室) 【義務教育課】

若宮小PTA受賞!! 文部科学大臣表彰

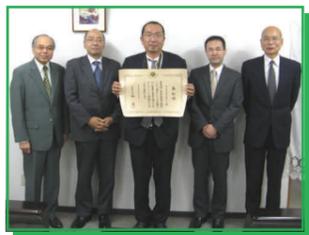
若宮小学校PTAが、平成27年度「優良PTA 文部科学大臣表彰」を受賞し、表彰式に参加しました。

若宮小学校PTAは、平成21年度より、「やれる人がやれるときに」というスローガンを掲げ、ボランティア精神のもと、強制力を伴わない組織作りと運営に尽力されています。

その結果、保護者を中心とした多くのPTA会員によって、

積極的な活動を展開されていることが受賞理由となりました。

【社会教育課】



教育長表敬訪問にて (左から田中教育長・大久保副会長・湯浅会長・佐野副会長・押田校長)

北方小・石井教諭 受賞!! 文部科学大臣表彰

石井ゆかり教諭(北方小学校音楽科教諭)が、平成27年度文部科学大臣優秀教職員として表彰されました。

この表彰は、学校教育における教育実践等に顕著な成果を上げた教諭に対して授与されるものです。

石井教諭は、音楽の楽しさを子ども達に伝えることを大切にしたい授業実践を通して、県の「魅

力ある授業づくりの達人」を2期にわたって務めています。

児童の指導のみならず、市川市の音楽教育に大きく貢献していることについて、その業績が高く評価され受賞となりました。 【指導課】



指導する石井教諭

かけてます「愛のひと声」～少年補導員～

少年補導員をご存知ですか? 本市では各小・中学校のPTA等から推薦され、教育委員会から委嘱された160名の少年補導員が、各地区の繁華街や公園、ゲームセンターなどをパトロールしています「補導」という言葉から「検挙や取り締まり」を想像されがちです

が、少年補導員の「補導」とは青少年に優しく温かな声をかける「愛のひと声」活動のことです。

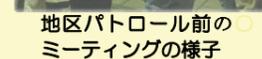
喫煙や自転車の危険走行など、補導の対象や危険な行為に対しては、その害や危険性をしっかり伝え、やめるよう諭します。

また、青少年に良くない環境やたまり場になりそうなところを確認し、学校や地域の方が集まる会議でその情報を伝え、注意を呼びかけています。

放課後や夜間に緑色の腕章やベストを着用してパトロールしている人たちを見かけたら、それは非行の早期発見と未然防止のために

積極的に「愛のひと声」活動に取り組んでいる素敵な「少年補導員」の方々です。

これからも少年補導員の活動にご理解とご協力をよろしくお願い致します。 【少年センター】



地区パトロール前のミーティングの様子

縄文フェスティバル開催!

◎第16回縄文体験フェスティバルin堀之内貝塚

1 日時 平成28年3月27日(日)10時～14時 ※雨天の場合、縮小開催

2 会場 考古博物館・歴史博物館・堀之内貝塚公園ほか

3 内容 模擬店・グランドゴルフ・縄文食体験・火おこし体験・縄文造形教室・勾玉づくり・紙芝居・竹細工コーナー・クテ打組紐体験・昔の暮らし体験・粘土型あそび・紋切りあそび・鎧かぶとの試着体験・和太鼓の演奏・フリーマーケットなど ※都合により一部内容変更あり

4 参加費 入場無料、申し込み不要

5 その他 当日は、駐車場が大変混雑しますので、公共機関のご利用をお願いします。

6 お問い合わせ 市川考古博物館 担当:領塚(りょうづか) TEL 373-2202 【考古博物館】



「教育いちかわ」のバックナンバーも掲載していますのでご覧ください。 →「教育いちかわ」